

登録コード	L2981600	開講年度	2026				
担当教員	人文学部学務委員			副担当	田村 徳至		
授業科目	教育実習事前・事後指導						
英文授業名	Before and After Guidance of Practice Teaching						
授業タイトル	教育実習学習指導案						
単位数	1	対象学生		講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室			遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2021Lカリ, 2020Lカリ 【2022年度以前カリ対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー ⇔ これまでの教職科目で学んだ内容を活用し、他者の考えを明晰に理解しながら自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシーを獲得する						
授業で学べる「テーマ」	キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	4年次で教育実習を受けるにあたっての事前指導として、教材開発、子ども理解、指導案の作成、模擬授業、授業参観や授業分析の在り方について学び、実習後に自己の実習を振り返り、課題と達成できた内容を総括して、今後の教師としてのキャリアアップの視点を見出す。 今年度も人文学部と理学部と一緒にしていきます。						
授業計画	集中講義の形式で授業を実施する。 事前指導 1. 教育実習オリエンテーション（1回目：4月15日水曜日1限） 2. 授業参観・授業分析（2回目：4月22日水曜日1限） 3. 学習指導案作成（3回目：4月30日木曜日1限） 4. 学習指導検討（4回目：5月13日水曜日1限） 5. 板書計画等 6. 模擬授業 7. 模擬授業の分析 事後指導 8. 教育実習の反省会と【後期】教職実践演習に向けての課題の明確化 ＊9月の授業参観のグループ分け 他 ＊日程は決定次第eAlpsを通して連絡する。						
成績評価の方法	事前での学習への取り組みと、教育実習の振り返りの内容等により、総合的に評価します。						
成績評価の基準	【卓越している】実習先の生徒の気質・学校の雰囲気等を理解しており、教材研究を十二分に行い、自身の課題を明確にし、教師としての自覚を持ち教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の成果と課題を十二分に把握している。 【かなり上にある】教材研究を行い、自身の課題を明確にし、教師としての自覚を持ち教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の成果と課題を把握している。 【やや上にある】教材研究を行い、自身の課題を明確にし、教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の成果と課題を把握している。 【水準にある】教材研究を行い、自身の課題を明確にし、教師としての自覚を持ち教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の課題を把握している。						
事前事後学習の内容	生徒が興味関心を持って学習に参加したくなる教材を開発する。 役者としての教師の役割や実験観察の指南役としての役割などが、模擬授業の中できちんと展開できるよう具体的に練習する。						
履修上の注意	・教員採用試験に挑戦することを前提に授業を行います。 ・4月上旬の「教育実習4年次ガイダンス」で教育実習に向けての流れを説明するので、本授業履修希望者は必ず同ガイダンスに出席してください。						
質問、相談への対応	・質問・相談はなるべく授業中に行なって下さい。 ・授業以外の時間帯での質問・相談は、随時、受け付けます。 教職相談室（松本）：kyousho@shinshu-u.ac.jp 田村：tamura@shinshu-u.ac.jp						
教科書	藤井善章／小山茂吉 編著『教育実習・介護等体験 安心ハンドブック』,学事出版,2026, 2,000円＋税 ・旧版のものでも可						
参考書	中学校学習指導要領 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 高等学校学習指導要領 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 中学校学習指導要領解説 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 高等学校学習指導要領解説 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 実習校で使用する教科書						